

G3 のツイッター その27

烈剛河内 竹井 保満

地球の活動期に入ったのか熊本を中心とした地震の群発、5月と言うのに真夏日が続いて草や木の花も見ごろが大きくずれて見損なうものもありました。暖かいと庭の雑草も驚くほど早く草むしりに追われます。在職中に奈良県に家を買って片手間に菜園を手がけた友達がいました。草取りと格闘をしましたが負けてしまいました。彼の畑の隣のお婆さん曰く、大阪では「土一升金一升」と言うが、此処では「土一升種一升」やでと言われた言葉が、今私にも語りかけているように思えます。

奈良のお婆さんは科学的なことはよく分からなかったと思いますが、ウィルスや細菌が土を活性化させ、その土に植物の種が芽を出し繁茂する、土が生きている証拠でしょう。私も、年寄りの庭だからと荒れていると言われたくないので、日々雑草と戦っています。私は焚火が好きでよく焚火をしましたが、一昨年から市の条例で住宅街での焚火は禁止されました。それ迄は、剪定した木の枝は燃やしていましたが、今では木の枝を細かく切って堆肥にしています。私も農耕民族の血を受けているせいか、何かと嫌なことの多い日々ですが、土と向き合っていると癒される気がします。

5月27日から三日間、全日本パワーの大会が神戸で行われました。私は、カレンダーイヤーの88歳ですので、無理はしないでパーフェクトの競技で最高齢の記録と大会に臨みました。トータル275キロでしたが、私より15歳も若いベテランのOさんが躓かれ、柵から牡丹餅が落ちてきました。非力な私ですがよく頑張ったと思っています。

5月7日第30回大阪マスターズ陸上選手権大会が開かれ延べ800人ほどが参加しました。私は、ハンマー投げで一位、やり投げは大会新で一位、砲丸は二位でしたが、大会の後援者である朝日新聞社から、最優秀男子選手に選ばれました。立派な置物と大きな賞状をいただきました。藤井寺市のように田舎では投擲ができるようなグラウンドはありませんし、一人で草の生い茂る畑の草を刈り、手に豆を作って土地を均し、マイ・グラウンド作りに汗をかき、骨を折りました。技術指導の先輩も先生も居ませんでした。教本だけを頼りに努力したことが今回の優秀選手賞につながったと思っています。

本誌の世界ベンチ・デンマーク大会の記事で93歳のSvendさんが出場されており80キロを上げておられました。ニュージーランドのベンチ大会で頑張ろうとお約束をしましたが、本当に頑張っておられました。石井直方先生に90歳まで筋肉がつくと教わりましたが、もっと上に行くSvendさんに負けられません。もうすぐ梅雨入りウェイトリフティングには悪条件ですが次の目標に向かって、

烈剛河内！！



全日本選手権で見事優勝！竹井保満選手